

1、ウズベキスタン概況

ウズベキスタン共和国 Republic of Uzbekistan は、44万8,900平方キロメートル(日本の約1.2倍)である。人口は2780万人。一人当たりの国内総生産は521ドル。これは、旧ソ連領各国の中で最低レベルである。

独立当初より市場経済化については、漸進的なアプローチを採用した結果、CIS諸国の中では独立後の経済の落ち込みは比較的緩やかであった。GDP成長率は2004年から2007年まで4年連続で7%の高水準を維持した。

主要産業は綿花栽培。また、天然資源にも恵まれ、天然ガス、ウラン、金などが豊富。一次産業が経済の主体であり、産業の高度化が課題である。

2、独立以降の経済概況

独立後はロシア依存を軽減するとともに、全方位的外交を展開。2001年9月の米国における同時多発テロ事件後は、国内空軍基地に米軍駐留を認めるなど米国との関係を強めてきたが、2005年5月のアンディジャン騒擾事件を受け、事件への対応に批判的な欧米各国との関係が決定的に悪化し、ウズベキスタン政府の立場を支持する露・中との関係強化が進んだ。2005年11月、米軍の撤退が完了する一方、ロシアと同盟関係条約を締結。また、2006年1月、ユーラシア経済共同体(EAEC)に加盟、6月にはCIS集団安全保障条約機構(CSTO)への復帰を決定した。2006年9月には、ロシアと反テロ共同軍事演習を行った。最近では、EUや米から政府高官のウズベキスタン訪問が行われるなど欧米との関係改善の兆しが見られる一方で、2008年10月にはユーラシア経済共同体(EAEC)に対する自国の加盟資格を停止している。

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
GDP	106,9	105,9	103,3	107,3	103,3	105,9	109,6	113,2	114,0	110,5	113,9	113,2	113,8	106,8
工業生産	102	101	101	98	105	106	105	115	115	102	108	99,1 ²⁾	103	102
農業生産	105	102	94	113	101	98	112	104	104	115	111	100,4	110	101
固定資本投資	96	113	100	117	98	127	106	145	141	115	133	138	120	102
消費者物価指数	276	119	114	109	101	99	103	101	105	107	101	103	104	109

資料2 参照

3、市場経済化改革

計画経済と市場経済

ウズベキスタンにおける市場経済化改革とは、計画経済から資本主義市場経済への体制転換を実現するための経済改革である。

改革内容

改革は大きく 3 分野に分けられる。

- ・ 経済自由化：公定価格制度や中央集権的資源配分メカニズムの縮小、撤廃。
- 貿易活動と為替管理の規制緩和。
- ・ 企業改革：私的企業活動の法制化、国有企業の私有化（小規模私有化、大規模私有化）
- ・ 金融改革：銀行システムの二層化（国有銀行と商業銀行）、証券市場の創出

4、ウズベキスタン経済の展望

ウズベキスタンは独立後、漸進改革主義を標榜してきたが、それは国家による統制を正当化する手段に過ぎなかった。一部改革も行われてきたが、市場経済化からはほど遠く、国家が管理・統制するというシステムを根本的に変えるような試みはなされなかった。ソ連解体後、十分なインフラ・制度のないまま急進的改革を進めたカザフスタン・キルギスタン経済が大きな打撃を受けたのに対し、国家管理下にあったウズベキスタン経済は生産低下を最小限に抑えることができ、回復も早かった。それにより自信を得たカリモフ政権は今日までそのシステムを維持してきたのである。

しかし、近年ウズベキスタンの綿花モノカルチャ経済は行き詰まってきており、国際機関や欧米諸国からも市場経済化が強く求められている。ウズベキスタンは早急にシステムの転換を図る必要がある。勿論、市場経済化が進めば、今まで保護されてきた産業は打撃を受け、全般的には経済は長く停滞するだろう。が、それでも長期的視点に立てば、このまま国家管理システムを維持するよりは、ダメージは軽くすむと思われる。ウズベキスタンでは天然資源輸出へのポテンシャルが低いため、経済成長の原動力となる直接投資をひきつけるのは容易ではないだろうが、市場経済化が進み貿易為替規制が緩和され、産業の多角化が少しずつでも進めば、直接投資も増えていくだろう。

[資料リスト]

- 1、外務省HP、「各国・地域情勢」ウズベキスタン 2009年6月17日参照
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uzbekistan/index.html>
- 2、Interstate Statistical Committee of Independent States 2009年6月18日
http://www.cisstat.com/eng/frame_macro.htm
- 3、JETRO 日本貿易振興諸国(ジェトロ) 2009年6月21日参照
http://www.jetro.go.jp/world/russia_cis/uz/basic_03/
- 4、中央アジアで拡大する中国のプレゼンス-天然資源をめぐる動きと市場としての可能性
- 2008年 JETRO発行 (ウズベキスタンの箇所を参照2009年6月20日)